

令和7年12月17日

埼玉県感染症発生動向調査事業



感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2025年 第50週 (12月8日～12月14日)

一類及び二類（結核を除く）感染症

報告なし

三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5人	類型	患者 1人、無症状病原体保有者 4人
			血清型	O157 2人、不明 3人
四類感染症	つつが虫病	1人	推定感染地域	国内
	レジオネラ症	3人	病型	肺炎型 1人、ポンティアック熱型 1人、無症状病原体保有者 1人
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1人	菌種	<i>Enterobacter</i> sp.
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3人	血清群	A群 1人、G群 2人
侵襲性肺炎球菌感染症		2人		
	水痘（入院例）	1人	病型	臨床診断例
梅毒		6人	病型	早期顎症Ⅰ期 3人、早期顎症Ⅱ期 1人、無症状病原体保有者 2人
	百日咳	41人		
[年齢階級 0歳 1人、3歳 1人、4歳 1人、7歳 2人、8歳 1人、9歳 2人、10歳代 11人、20歳代 5人、30歳代 5人、40歳代 8人、50歳代 3人、70歳代 1人]				

〈百日咳の患者情報〉

第50週に届出があった百日咳の患者数（第49週以前に診断された患者を含む）は41人であった（前週44人）。

第50週に診断された患者数は44人で、前週と比較して同水準であり、やや多い状況にある（図1）。

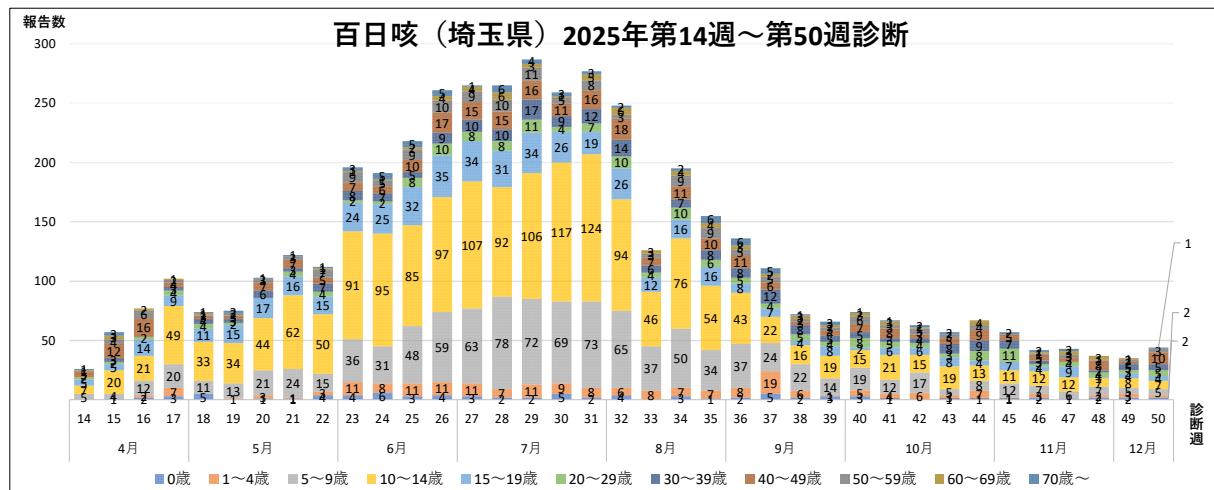
〈定点把握疾患の患者情報〉

インフルエンザ（74.81→50.82→37.94:図2-1～3）の定点当たり報告数は、2週連続で大きく減少したものの、多い状況にある。年齢階級別では、14歳以下の報告が全体の約64%で、5～9歳の報告が特に多い（約28%）。基幹定点におけるインフルエンザ（入院）の報告数は51人（前週43人）であり、年齢階級別では、70歳以上の報告が約53%であった。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（3.57→4.04:図3）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加し、やや多い状況にある。新型コロナウィルス感染症（1.45→1.43:図4）の定点当たり報告数は、前週と比較して同水準であった。基幹定点における新型コロナウィルス感染症（入院）の報告は7人（前週15人）であった。急性呼吸器感染症（115.08*→104.57:図5）の定点当たり報告数は、第48週以降、減少傾向にある。眼科定点報告疾患では、流行性角結膜炎22人の報告があった。基幹定点報告疾患では、マイコプラズマ肺炎11人（前週12人）の報告があった。

* 遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載。

全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト（URL: <https://id-info.hrsa.jp/>）で御覧になれます。

図1 百日咳の診断週別報告数の推移



＜インフルエンザ流行情報＞

図 2-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

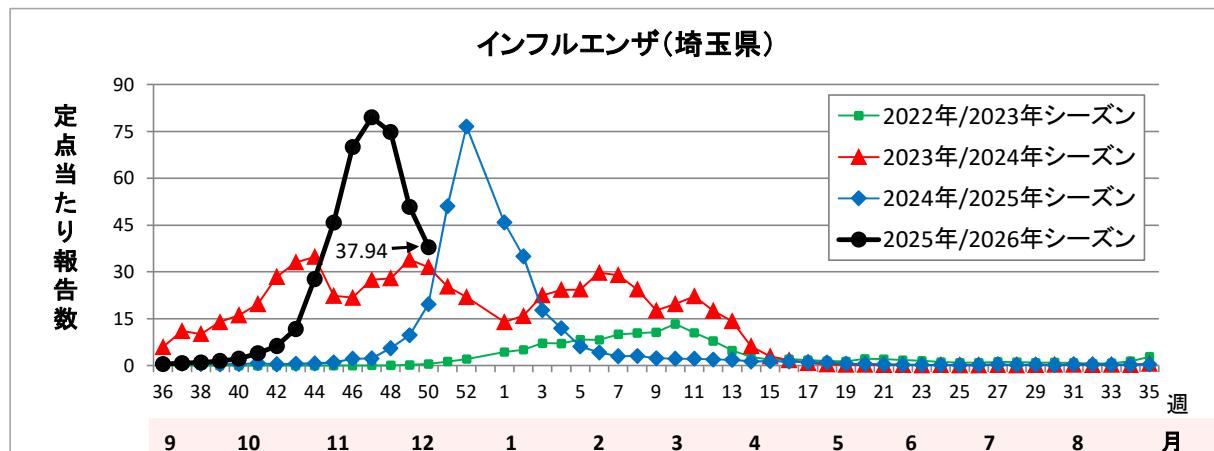
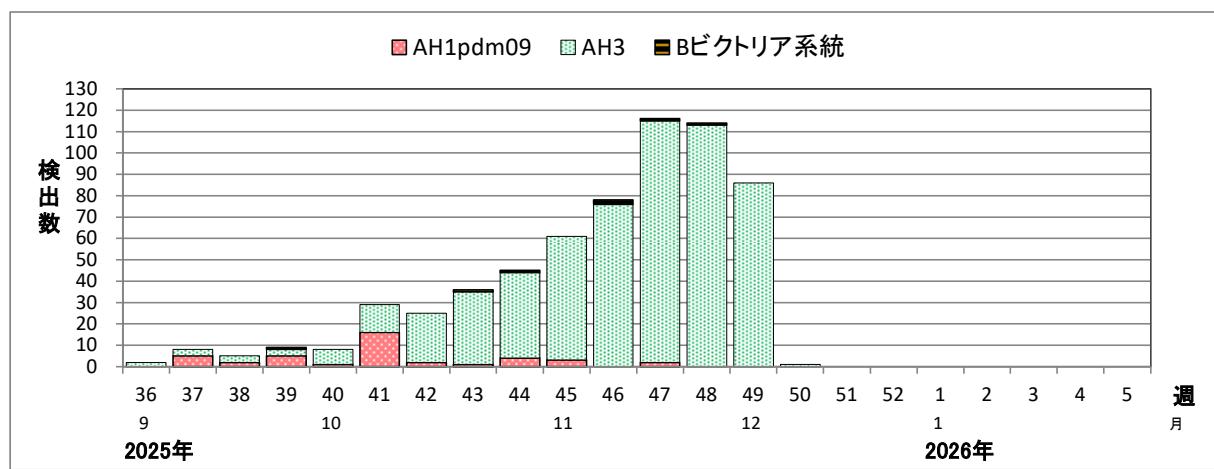
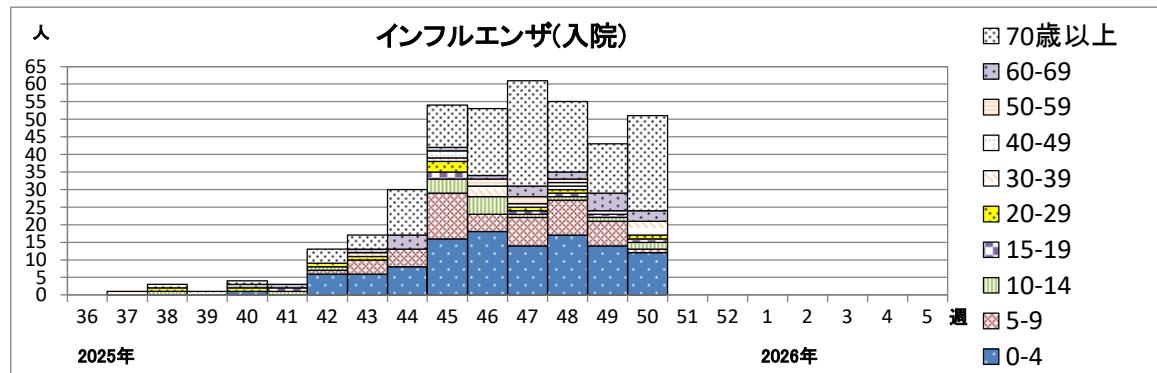


図 2-2 インフルエンザウイルスの週別検出状況



2025年第47週～第49週（2025年11月17日～12月7日）の3週間に採取された急性呼吸器感染症検体のうち、インフルエンザウイルスが検出されその型別が終了した316検体は、AH3型が312件（98.7%）、AH1pdm09型が2件（0.6%）、Bビクトリア系統が2件（0.6%）でした。

図2-3 インフルエンザ（入院）の年齢階級別報告数



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

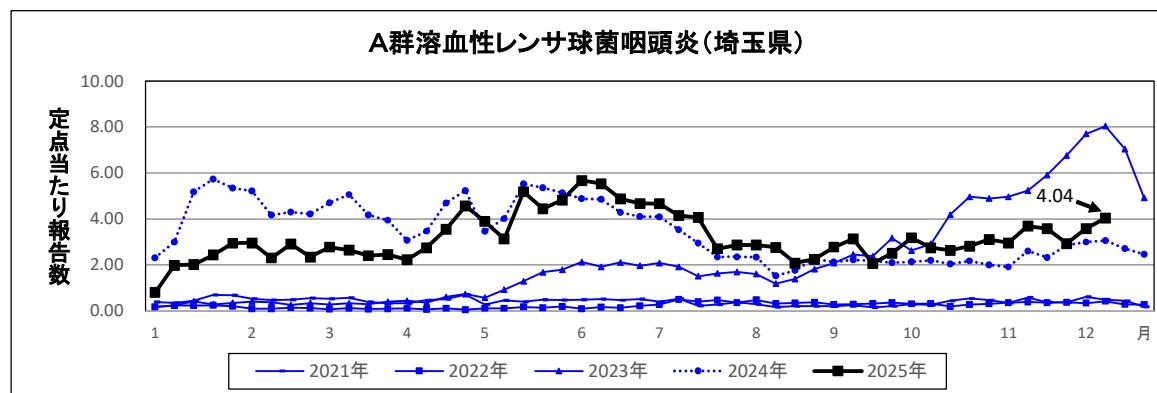


図4 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

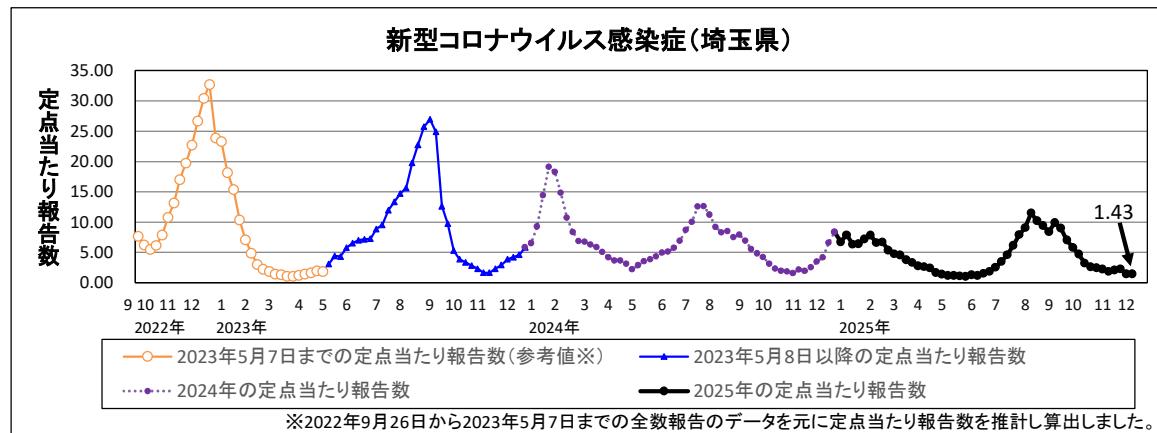
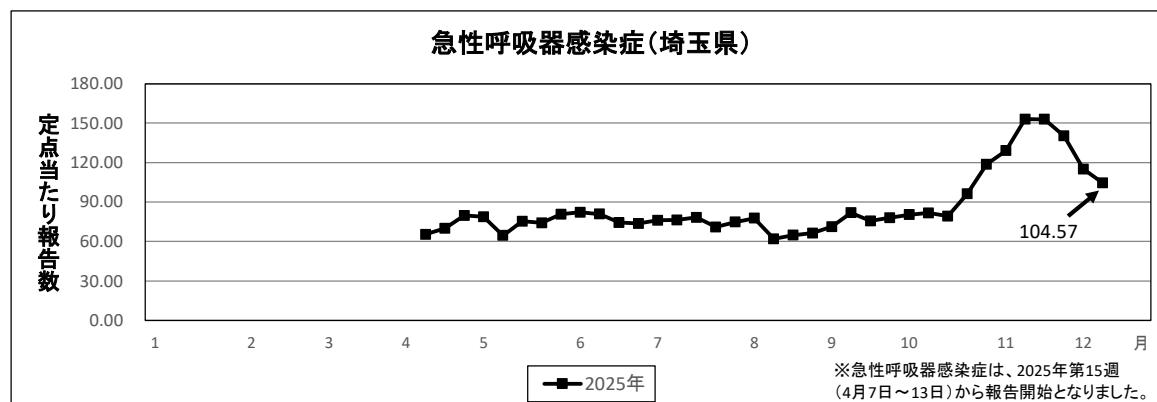


図5 急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第50週)

(2025年12月16日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核 * 1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		4
細菌性赤痢		5	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	5	171			
四類感染症					
E型肝炎		39	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		9	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病		1	Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		3
重症熱性血小板減少症候群			野兎病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チケングニア熱		1	レジオネラ症		3 101
つつが虫病	1	3	レプトスピラ症		2
デンゲ熱		5	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		13	侵襲性肺炎球菌感染症		2 147
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		12	水痘(入院例に限る)		1 29
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	67	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		5	梅毒		6 507
急性脳炎		66	播種性クリプトコックス症		4
クリプトスボリジウム症		1	破傷風		7
クロイツフェルト・ヤコブ病		11	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	64	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		3
後天性免疫不全症候群		30	百日咳		41 4844
ジアルジア症			風しん		
侵襲性インフルエンザ菌感染症		22	麻しん		13
侵襲性髄膜炎菌感染症		5	薬剤耐性アシнетバクター感染症		

累計は診断日で集計

* 1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2025年11月分)

2025年11月の届出総数は、患者42人、疑似症患者1人、無症状病原体保有者16人の計59人であった。前月と比べると患者数は増加し、無症状病原体保有者数は同水準であった。過去1年と比べると、患者数は多く、無症状病原体保有者数は同水準であった。推定感染地域は国内35人、国外9人、不明15人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2024年11月～2025年11月)

	2024年*		2025年											
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	累計**
総計	58	76	65	51	58	59	61	68	55	40	48	57	59	621
年齢階級														
10歳未満	1	1	2	4	2	1	2	0	0	1	1	0	1	14
10歳代	0	2	0	1	0	0	4	0	1	1	0	0	2	9
20歳代	4	11	7	5	7	5	7	8	8	6	8	12	10	83
30歳代	0	6	5	2	3	3	5	6	5	2	1	5	5	42
40歳代	5	4	1	5	8	5	4	6	3	6	4	5	6	53
50歳代	9	7	14	6	3	10	5	8	4	4	7	7	5	73
60歳代	4	9	6	7	7	4	5	8	10	1	5	2	5	60
70歳代	12	10	13	8	11	7	9	14	7	2	9	10	9	99
80歳代	18	17	8	12	11	11	13	12	15	12	10	14	12	130
90歳以上	5	9	9	1	6	13	7	6	2	5	3	2	4	58
性														
男	32	44	44	30	34	41	26	41	33	20	33	29	24	355
女	26	32	21	21	24	18	35	27	22	20	15	28	35	266
類型														
患者	35	43	34	29	35	40	38	48	38	29	36	37	42	406
感染症死者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	4
無症状病原体保有者	23	33	30	22	23	19	22	20	17	10	12	20	16	211
病型														
肺結核	24	30	22	22	27	28	23	27	24	17	24	21	26	261
肺結核及びその他の結核	3	5	4	3	2	6	4	5	4	5	2	6	8	49
その他の結核	8	8	8	4	6	6	11	16	10	7	10	10	8	96
疑似症患者	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	4
無症状病原体保有者	23	33	30	22	23	19	22	20	17	10	12	20	16	211
推定感染地域														
国内	40	50	38	28	35	24	35	40	31	18	24	29	35	337
国外	4	6	10	4	5	3	4	8	4	6	5	7	9	65
不明	14	20	17	19	18	32	22	20	20	16	19	21	15	219

*:2024年の届出数は暫定値

**:2025年1月からの累積届出数

11月に診断された59人を病型別にみると、肺結核は20歳代以上の年齢階級から計26人の報告があり、60歳代以上が14人で約54%であった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2025年11月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及び その他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体 保有者	
総計	26	8	8	1	16	59
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	1	1
10歳代	0	0	0	0	2	2
20歳代	3	3	1	0	3	10
30歳代	2	1	1	0	1	5
40歳代	3	0	0	0	3	6
50歳代	4	0	0	0	1	5
60歳代	2	2	1	0	0	5
70歳代	1	1	4	0	3	9
80歳代	8	1	1	1	1	12
90歳以上	3	0	0	0	1	4

感染症発生状況(定点把握対象疾患)												報告患者数		保健所別		(2025年第50週)		12月8日～12月14日)				新型コロナウイルス感染症	
保健所		インフルエンザ #1	新型コロナウイルス感染症	急性呼吸器感染症	RSV	咽頭結膜熱	A群溶血性球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 #3	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	
		インフルエンザ #1	新型コロナウイルス感染症	急性呼吸器感染症	RSV	咽頭結膜熱	A群溶血性球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 #3	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	
全 県	報告数	6,678	251	18,404	47	21	444	611	29	6	10	27	1	7	-	22	-	-	11	-	-	51	7
	定点当たり	37.94	1.43	104.57	0.43	0.19	4.04	5.55	0.26	0.05	0.09	0.25	0.01	0.06	-	0.51	-	-	0.92	-	-	4.25	0.58
朝 霞	報告数	981	61	2,000	6	-	25	53	-	-	3	1	-	-	-	6	-	-	2	-	-	13	1
	定点当たり	61.31	3.81	125.00	0.60	-	2.50	5.30	-	-	0.30	0.10	-	-	-	1.20	-	-	2.00	-	-	13.00	1.00
鴻 巣	報告数	706	11	2,062	-	1	56	38	2	-	2	1	-	1	-	2	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	58.83	0.92	171.83	-	0.14	8.00	5.43	0.29	-	0.29	0.14	-	0.14	-	0.67	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	214	7	532	-	-	4	74	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	53.50	1.75	133.00	-	-	1.33	24.67	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	-
秩 父	報告数	77	6	146	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	19.25	1.50	36.50	-	-	2.67	-	0.33	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数	128	3	342	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
	定点当たり	32.00	0.75	85.50	-	-	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	2.00
熊 谷	報告数	354	15	928	8	-	20	17	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1
	定点当たり	39.33	1.67	103.11	1.60	-	4.00	3.40	0.60	-	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00	1.00
加 須	報告数	215	7	333	-	-	1	1	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	3	-	-	2	-
	定点当たり	43.00	1.40	66.60	-	-	0.33	0.33	-	-	-	0.67	-	-	-	2.00	-	-	3.00	-	-	2.00	-
春 日 部	報告数	254	8	863	4	3	19	27	-	-	1	1	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	42.33	1.33	143.83	1.33	1.00	6.33	9.00	-	-	0.33	0.33	0.33	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	750	24	1,686	9	6	27	23	2	-	-	-	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	83.33	2.67	187.33	1.80	1.20	5.40	4.60	0.40	-	-	-	-	0.20	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	169	7	472	1	-	3	28	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	42.25	1.75	118.00	0.33	-	1.00	9.33	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草 加	報告数	343	13	904	-	-	22	46	5	3	-	1	-	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	31.18	1.18	82.18	-	-	3.14	6.57	0.71	0.43	-	0.14	-	0.29	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	456	27	1,274	5	2	20	36	1	-	2	4	-	-	-	1	-	-	3	-	-	10	-
	定点当たり	35.08	2.08	98.00	0.50	0.20	2.00	3.60	0.10	-	0.20	0.40	-	-	0.20	-	-	3.00	-	-	10.00	-	
南 部	報告数	139	9	511	-	-	-	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1
	定点当たり	27.80	1.80	102.20	-	-	-	2.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00	1.00
川 越 市	報告数	312	11	936	1	1	29	9	3	-	-	1	-	-	-	7	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	34.67	1.22	104.00	0.20	0.20	5.80	1.80	0.60	-	-	0.20	-	-	-	3.50	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	116	9	673	-	-	12	15	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	2	-	-	2	-
	定点当たり	14.50	1.13	84.13	-	-	2.40	3.00	-	-	-	0.20	-	0.20	-	-	-	-	2.00	-	-	2.00	-
川 口 市	報告数	447	15	1,189	7	1	44	58	3	3	-	1	-	1	-	2	-	-	1	-	-	8	-
	定点当たり	31.93	1.07	84.93	0.88	0.13	5.50	7.25	0.38	0.38	-	0.13	-	0.13	-	0.50	-	-	1.00	-	-	8.00	-
さいたま市	報告数	1,017	18	3,553	6	7	142	181	7	-	-	13	-	-	-	2	-	-	-	-	-	7	2
	定点当たり	23.65	0.42	82.63	0.21	0.25	5.07	6.46	0.25	-	-	0.46	-	-	-	0.22	-	-	-	-	-	7.00	2.00

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く
12月 16日 13:15 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2025年第50週)

12月8日～12月14日)

	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	6,678	29	62	204	268	318	353	421	380	407	362	310	1,161	402	525	456	356	268	205	119	72
新型コロナウイルス感染症	251	-	3	6	2	5	4	3	3	5	4	5	15	16	25	34	22	28	18	22	31
	合計	0歳		1-4				5-9					10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
急性呼吸器感染症	18,404	774		5,099				4,723					2,380	772	989	1,025	787	674	500	376	305
	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	47	9	14	9	7	4	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	21	-	-	8	3	2	1	2	1	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	444	-	1	9	16	22	50	55	42	53	51	38	75	9	23						
感染性胃腸炎	611	8	32	70	85	47	44	49	42	34	50	31	68	13	38						
水痘	29	1	1	2	2	-	1	1	1	1	5	1	12	1	-						
手足口病	6	-	1	1	2	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-						
伝染性紅斑	10	-	-	1	2	-	-	2	2	1	1	1	-	-	-						
突発性発しん	27	-	5	16	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	7	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	2	-	-	-						
	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	22	-	-	-	-	-	-	1	1	2	1	-	-	-	1	3	5	4	3	1	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	11	-	1	5	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
インフルエンザ(入院)	51	7	5	1	2	1	-	1	3	1	-	-	-	-	-	-	3	27			
新型コロナウイルス感染症(入院)	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5			

※ 表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第48週 (11月24日～11月30日)

令和7年12月17日

<全国情報>

急性呼吸器感染症定点報告疾患(報告定点数:3,854): インフルエンザの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は埼玉県(74.81)、長野県(72.49)、福島県(64.81)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は2,261例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(148例)、1～9歳(730例)、10代(166例)、20代(48例)、30代(47例)、40代(34例)、50代(61例)、60代(118例)、70代(322例)、80歳以上(587例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第45週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(4.49)、秋田県(4.16)、長野県(3.24)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は800例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(12例)、1～9歳(20例)、10代(10例)、20代(8例)、30代(5例)、40代(18例)、50代(35例)、60代(75例)、70代(207例)、80歳以上(410例)であった。急性呼吸器感染症(報告定点数:3,843)定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は埼玉県(140.27)、群馬県(124.24)、栃木県(123.43)である。

小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数:2,343): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第42週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は奈良県(1.71)、島根県(1.55)、広島県(1.16)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.87)、鹿児島県(0.81)、島根県(0.64)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は愛媛県(5.20)、茨城県(4.29)、福岡県(4.24)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は岐阜県(8.07)、大分県(7.86)、石川県(7.11)である。水痘の定点当たり報告数は第43週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福島県(0.71)、鳥取県(0.68)、宮城県(0.65)である。手足口病の定点当たり報告数は第38週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.88)、福岡県(0.54)、長崎県(0.48)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(3.60)、佐賀県(3.08)、鹿児島県(2.87)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第44週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は島根県(0.18)、青森県(0.15)、鹿児島県(0.13)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(0.19)、栃木県(0.12)、島根県(0.09)である。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は秋田県(4.00)、群馬県(4.00)、福島県(2.71)、岐阜県(2.60)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。2都道府県から2例報告があり、年齢群別では5～9歳(1例)、10代(1例)であった。

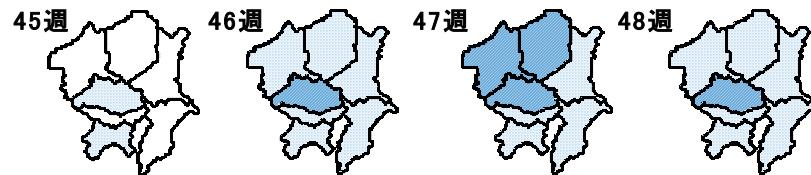
Infectious Diseases Weekly Report Japan 2025年 第48週(11月24日～11月30日):通巻第27巻 第48号 より

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、埼玉県(74.81)からの報告が多い。

インフルエンザ

- 70.00 以上
- 30.00 ~ 70.00
- 30.00 未満



	2025年 48週								
	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	173,380	57,025	3,977	2,706	2,479	13,091	8,820	14,947	11,005
報告数			44.99	48.45	58.49	58.83	55.09	74.81	47.93
定点当たり									35.76
新型コロナウイルス感染症	5,552	1,360	126	139	62	395	188	242	208
報告数			1.44	1.16	1.85	3.02	2.26	1.02	0.58
定点当たり									0.86
急性呼吸器感染症	341,273	118,007	7,949	5,678	5,591	24,547	16,907	33,823	23,512
報告数			88.80	100.52	116.90	123.43	124.24	140.27	92.39
定点当たり									80.92
RSウイルス感染症	1,362	221	13	11	14	46	23	54	60
報告数			0.58	0.31	0.34	0.42	0.56	0.42	0.20
定点当たり									0.43
咽頭結膜熱	571	144	4	2	8	36	13	49	32
報告数			0.24	0.20	0.11	0.08	0.32	0.33	0.12
定点当たり									0.23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4,834	1,730	163	82	39	322	290	556	278
報告数			2.06	2.43	4.29	3.15	1.56	2.93	2.59
定点当たり									2.11
感染性胃腸炎	8,307	2,914	159	38	108	475	350	1,301	483
報告数			3.55	4.09	4.18	1.46	4.32	4.32	3.13
定点当たり									4.93
水痘	795	222	10	9	3	33	21	92	54
報告数			0.34	0.31	0.26	0.35	0.12	0.30	0.35
定点当たり									0.39
手足口病	243	40	2	-	1	11	9	7	10
報告数			0.10	0.06	0.05	-	0.04	0.10	0.08
定点当たり									0.07
伝染性紅斑	1,343	91	13	3	2	13	21	20	19
報告数			0.57	0.13	0.34	0.12	0.08	0.12	0.08
定点当たり									0.14
突発性発しん	473	139	4	3	9	21	14	56	32
報告数			0.20	0.19	0.11	0.12	0.36	0.19	0.13
定点当たり									0.23
ヘルパンギーナ	81	29	2	-	-	7	5	7	8
報告数			0.03	0.04	0.05	-	0.06	0.04	0.03
定点当たり									0.06
流行性耳下腺炎	100	37	-	3	1	8	5	12	8
報告数			0.04	0.05	0.12	0.04	0.07	0.04	0.05
定点当たり									0.06
急性出血性結膜炎	6	4	-	1	-	1	1	-	1
報告数			0.01	0.02	-	0.08	-	0.03	0.02
定点当たり									0.02
流行性角結膜炎	489	162	30	11	23	26	17	17	38
報告数			0.70	0.78	1.76	0.92	1.64	0.60	0.44
定点当たり									0.75
細菌性髄膜炎 #2	8	2	-	-	-	1	-	-	1
報告数			0.02	0.02	-	-	0.08	-	0.08
定点当たり									0.08
無菌性髄膜炎	15	2	-	-	-	1	-	1	-
報告数			0.03	0.02	-	-	0.08	-	0.04
定点当たり									0.04
マイコプラズマ肺炎	556	127	28	16	36	16	4	19	8
報告数			1.16	1.46	2.15	2.29	4.00	1.33	0.44
定点当たり									0.67
クラミジア肺炎 #3	5	2	-	-	1	1	-	-	-
報告数			0.01	0.02	-	0.11	0.08	-	-
定点当たり									-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	2	1	-	1	-	-	-	-	-
報告数			0.00	0.01	-	0.14	-	-	-
定点当たり									-(-0.00)

#1 猫インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

感染症発生動向調査 2025年

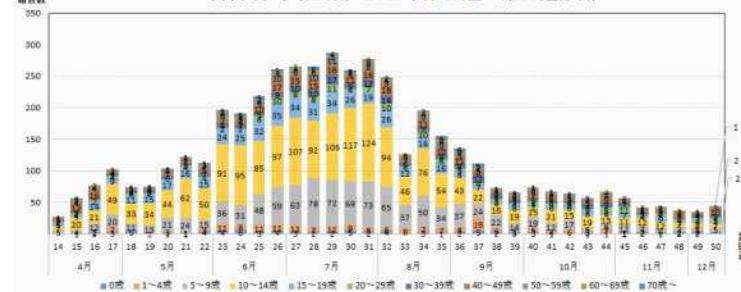
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第21週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第22週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第23週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第24週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第25週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第26週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第27週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2025年第28週](#)

感染症の流行状況 2025年 第50週 (12月8日～12月14日)

全数把握対象疾患 (百日咳)

第50週に診断された患者数は44人で、前週と比較して同水準であり、やや多い状況にあります。

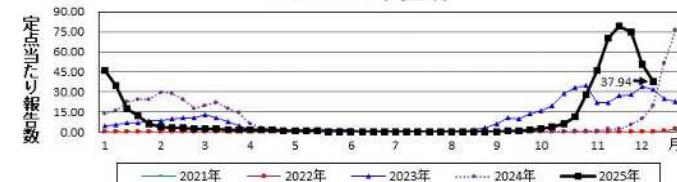
百日咳 (埼玉県) 2025年第14週～第50週診断



定点把握対象疾患 (インフルエンザ)

点検当たり報告数は2週連続で大きく減少したものの、多い状況にあります。

インフルエンザ (埼玉県)



感染予防のため、[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心掛けてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↓	★★★	手足口病	→	★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
急性呼吸器感染症	↓	—	突発性発しん	→	★
RSウイルス感染症	→	★	ヘルパンギーナ	→	★
咽頭結膜熱（ブル熱）	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★★	急性出血性結膜炎	→	★
感染性胃腸炎	→	★	流行性角結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さいー★、★★、★★★→大きい）*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数が変更となりました。疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「[感染症情報提供サイト](#)」でご覧になれます。